

## MPE720 Ver.7.67 バージョンアップ情報

### 1. 機能追加・改善項目

#### 1.1 Ver.7.66 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.66→ Ver.7.67 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	$\Sigma$ -X FT55 に対応しました。	新規
2	$\Sigma$ -7C Y549 に対応しました。	新規
3	コンパイラバージョン表示に対応しました。	新規
4	YRM-X のセルフコンフィグレーションを改善しました。	改善
5	YRM-X のプロトコル切替を改善しました。	改善
6	システムウインドウの表データ機能を改善しました。	改善
7	リアルタイムトレースを改善しました。	改善
8	ライブラリカタログのポイントテーブル編集を改善しました。	改善
9	電子カムツール連携機能を改善しました。	改善
10	定数表(#レジスタ)の表示を改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合にMPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種( $\Sigma$ -V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。操作手順については、次頁を参照ください。

## 【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

### <原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

### <対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

### 手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

#### 【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

#### 【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

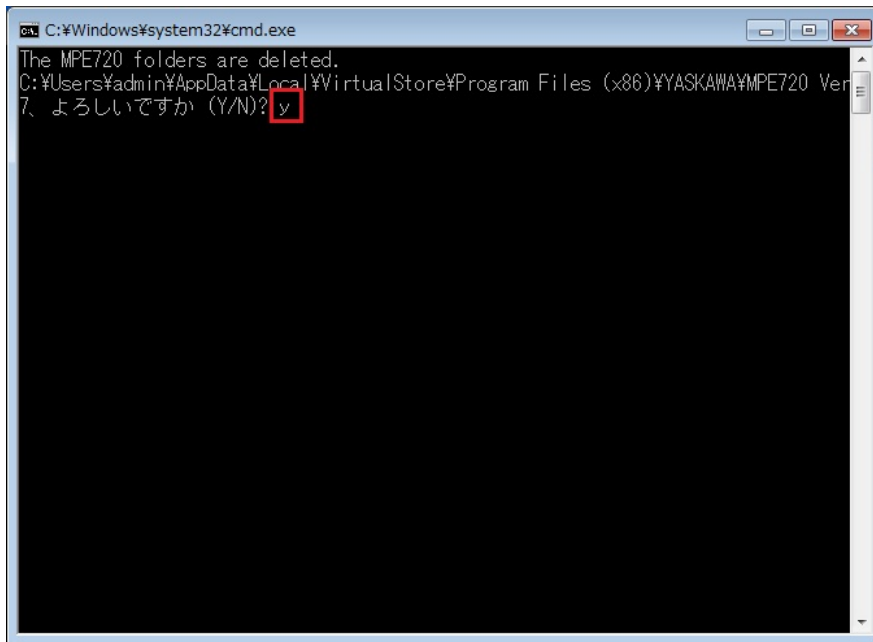
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

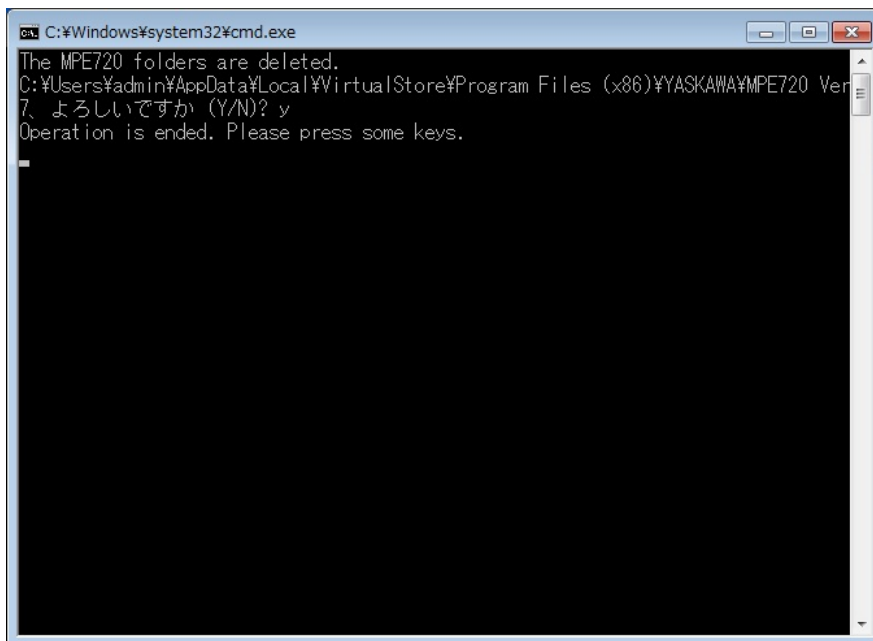


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7、よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7、よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

## 【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

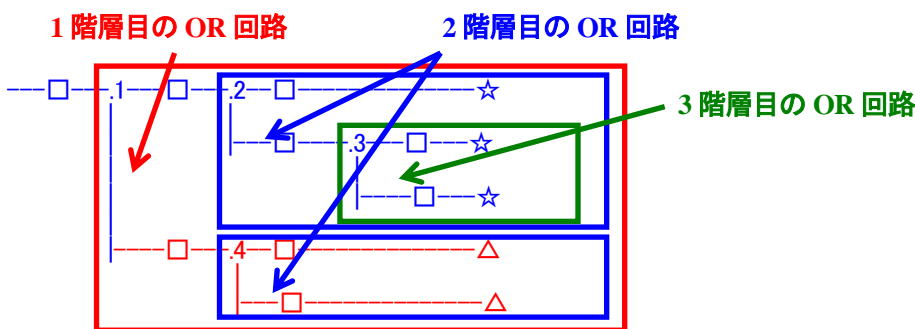
### <現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

### <対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



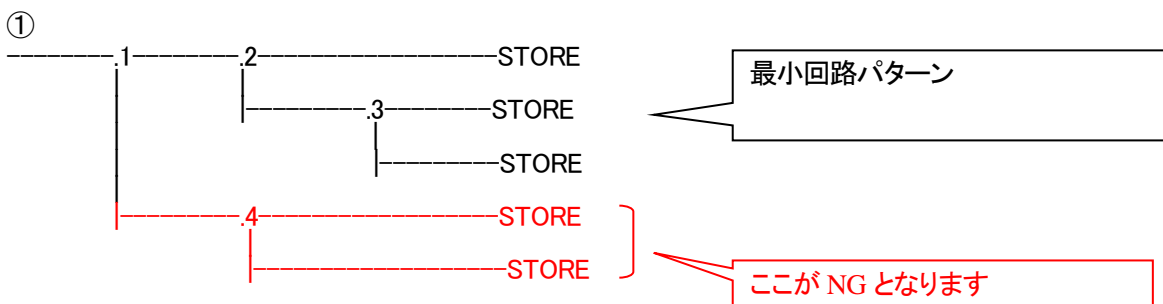
1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路  
 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路  
 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など  
 ※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む  
 ☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など  
 ※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。  
 △(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

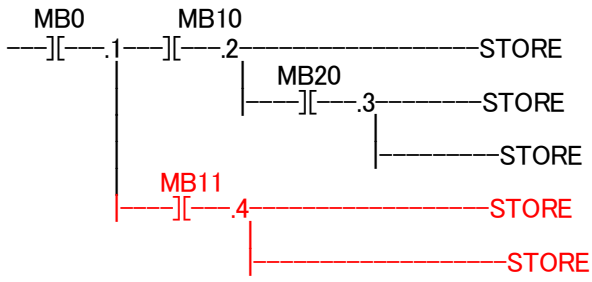
### 【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
( )	コイル

### 【NGパターン】



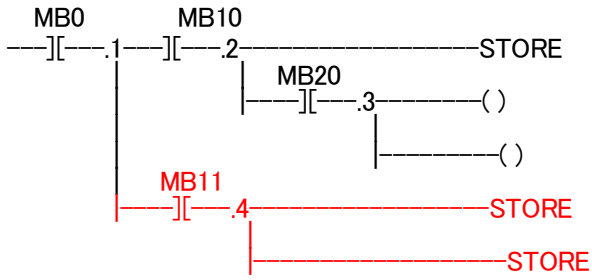
②



最小回路パターンに条件命令(A接点など)があってもNG

ここがNGとなります

③

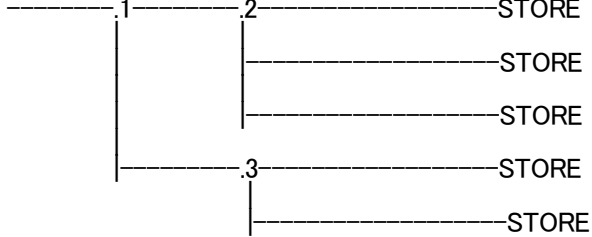


ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があるとNG

ここがNGとなります

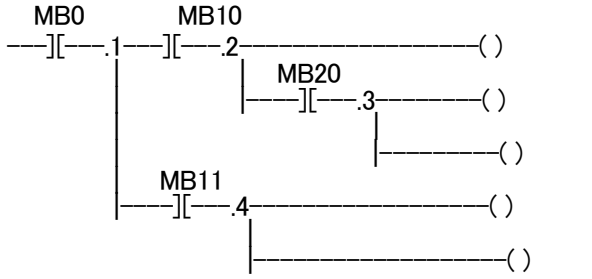
【OK パターン】

①



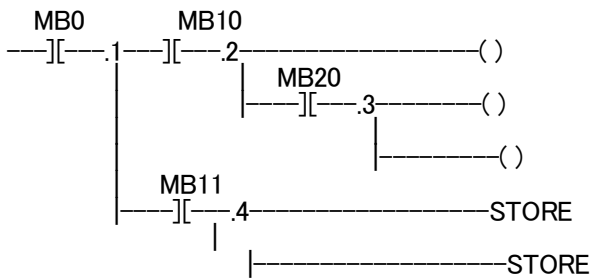
2階層のOR回路なのでOK

②



すべてコイルなのでOK

③



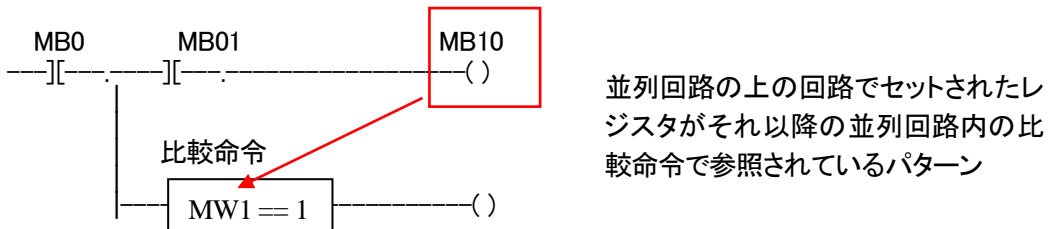
すべてコイルなのでOK

## 【並列回路内に比較命令がある場合のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.63以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

### <現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、OR 回路の上側の回路でセットされたレジスタの値は、本来、それ以降の OR 回路の中にある比較命令に同スキャン内に反映されなければならないところを、次のスキャンで反映してしまう現象がありました。



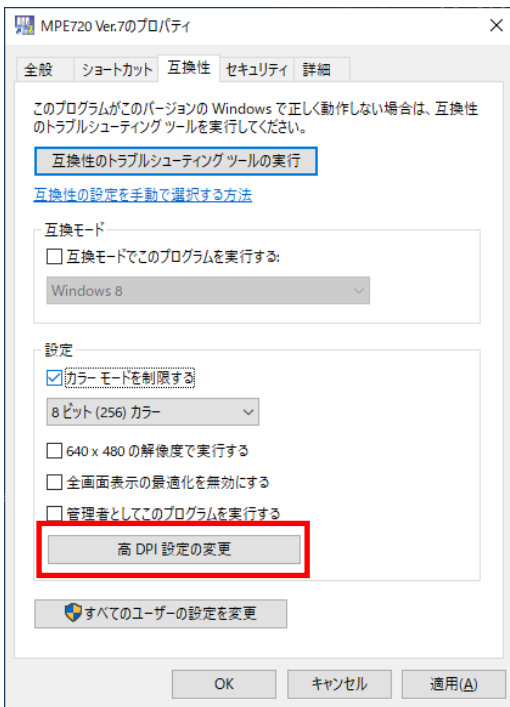
### <対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.64 以降の MPE720 Ver7 で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。またこのパターンの回路を含むプログラムについては Ver7.64 以降では内部のステップ数が変わりますので、以前のバージョンで作成したプロジェクトでクロスリファレンスを実施した時に、意図しない箇所に飛ぶ可能性があります。その場合も該当プログラムの再コンパイルを実施してください。または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。

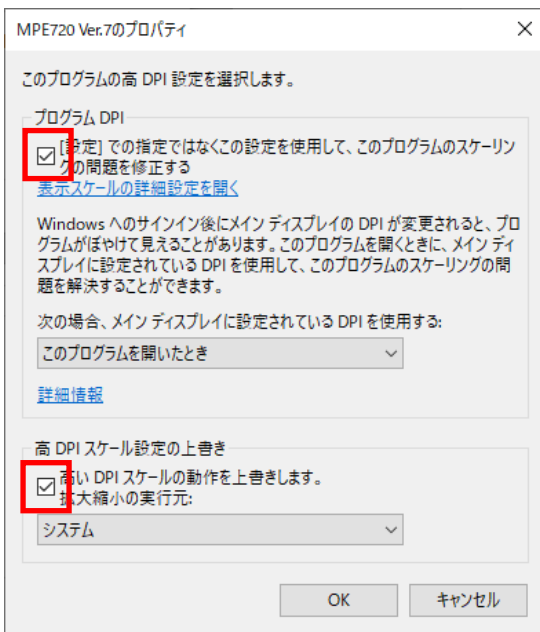
## 【高DPIについて】

MPE720 Ver.7を4Kディスプレイなどの高DPI対応のパソコンで起動した場合、解像度やスケールの設定などによっては画面の一部が表示できないことがあります。そのため、MPE720 Ver.7.67よりMPE720のプロパティの高DPI設定をアプリケーション(MPE720 Ver.7)の設定にするようにしました。これにより画面が見切れるなどの現象は回避されます。もし高DPIの設定をパソコンの設定でご使用になりたい場合は、以下の手順でプロパティの設定を変更してください。

- 1) デスクトップの MPE720 Ver.7 のショートカットアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
- 2) 互換性タブの「高 DPI 設定の変更」ボタンを押します。



- 3) 下記画面のチェックを両方とも外して「OK」ボタンを押してください。



## 1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	<a href="#">MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報</a>	Ver7.10→Ver7.11
2	<a href="#">MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報</a>	Ver7.11→Ver7.13
3	<a href="#">MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報</a>	Ver7.13→Ver7.14
4	<a href="#">MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報</a>	Ver7.14→Ver7.20
5	<a href="#">MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報</a>	Ver7.20→Ver7.21
6	<a href="#">MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報</a>	Ver7.21→Ver7.23
7	<a href="#">MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報</a>	Ver7.23→Ver7.24
8	<a href="#">MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報</a>	Ver7.24→Ver7.26
9	<a href="#">MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報</a>	Ver7.26→Ver7.27
10	<a href="#">MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報</a>	Ver7.27→Ver7.28
11	<a href="#">MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報</a>	Ver7.28→Ver7.29
12	<a href="#">MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報</a>	Ver7.29→Ver7.30
13	<a href="#">MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報</a>	Ver7.30→Ver7.31
14	<a href="#">MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報</a>	Ver7.31→Ver7.33
15	<a href="#">MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報</a>	Ver7.33→Ver7.34
16	<a href="#">MPE720 Ver7.35 バージョンアップ情報</a>	Ver7.34→Ver7.35
17	<a href="#">MPE720 Ver7.36 バージョンアップ情報</a>	Ver7.35→Ver7.36
18	<a href="#">MPE720 Ver7.37 バージョンアップ情報</a>	Ver7.36→Ver7.37
19	<a href="#">MPE720 Ver7.38 バージョンアップ情報</a>	Ver7.37→Ver7.38
20	<a href="#">MPE720 Ver7.39 バージョンアップ情報</a>	Ver7.38→Ver7.39
21	<a href="#">MPE720 Ver7.40 バージョンアップ情報</a>	Ver7.39→Ver7.40
22	<a href="#">MPE720 Ver7.41 バージョンアップ情報</a>	Ver7.40→Ver7.41
23	<a href="#">MPE720 Ver7.42 バージョンアップ情報</a>	Ver7.41→Ver7.42
24	<a href="#">MPE720 Ver7.43 バージョンアップ情報</a>	Ver7.42→Ver7.43
25	<a href="#">MPE720 Ver7.44 バージョンアップ情報</a>	Ver7.43→Ver7.44
26	<a href="#">MPE720 Ver7.45 バージョンアップ情報</a>	Ver7.44→Ver7.45
27	<a href="#">MPE720 Ver7.46 バージョンアップ情報</a>	Ver7.45→Ver7.46
28	<a href="#">MPE720 Ver7.47 バージョンアップ情報</a>	Ver7.46→Ver7.47
29	<a href="#">MPE720 Ver7.50 バージョンアップ情報</a>	Ver7.47→Ver7.50
30	<a href="#">MPE720 Ver7.51 バージョンアップ情報</a>	Ver7.50→Ver7.51
31	<a href="#">MPE720 Ver7.52 バージョンアップ情報</a>	Ver7.51→Ver7.52
32	<a href="#">MPE720 Ver7.60 バージョンアップ情報</a>	Ver7.52→Ver7.60
33	<a href="#">MPE720 Ver7.62 バージョンアップ情報</a>	Ver7.60→Ver7.62
34	<a href="#">MPE720 Ver7.63 バージョンアップ情報</a>	Ver7.62→Ver7.63
35	<a href="#">MPE720 Ver7.64 バージョンアップ情報</a>	Ver7.63→Ver7.64
36	<a href="#">MPE720 Ver7.65 バージョンアップ情報</a>	Ver7.64→Ver7.65
37	<a href="#">MPE720 Ver7.66 バージョンアップ情報</a>	Ver7.65→Ver7.66

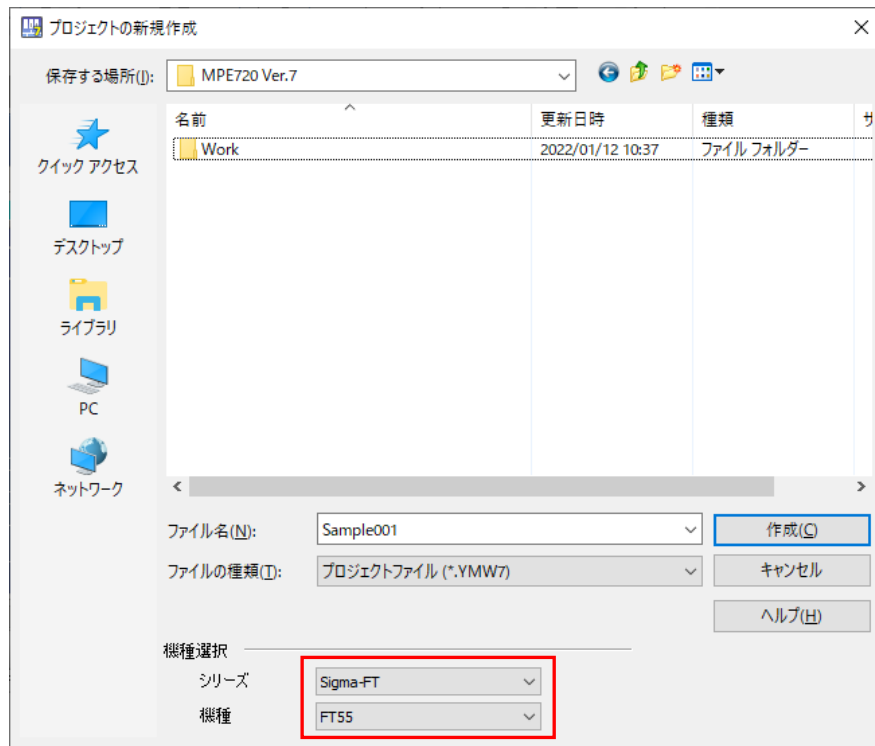


## 2. 修正内容詳細

### No. 1 $\Sigma$ -X FT55 に対応しました。

$\Sigma$ -X FT55 サーボに対応しました。

1) シリーズ名"Sigma-FT"、機種"FT55"を指定して、プロジェクトファイルを作成することが可能です。



2)  $\Sigma$ -X FT55 サーボにオンライン接続してコントローラ機能のエンジニアリングをすることが可能です。

#### 【対応バージョン】

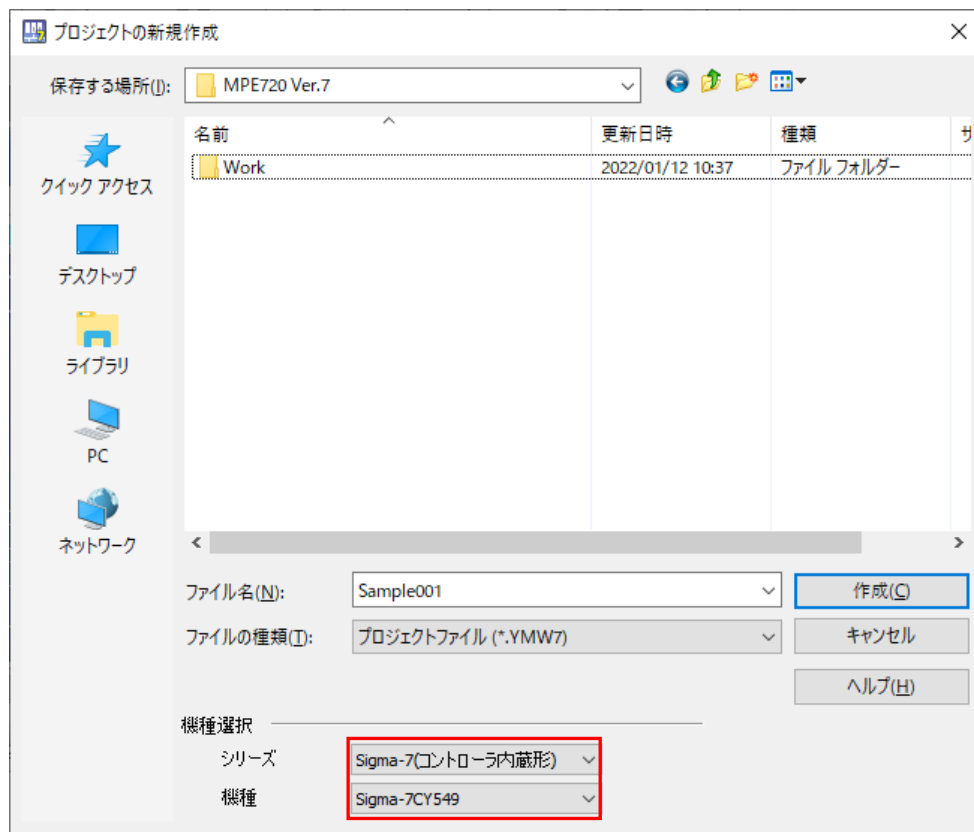
○サーボ

サーボ	対応ファームウェアバージョン
$\Sigma$ -X FT55	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 2 $\Sigma$ -7C Y549 に対応しました。

$\Sigma$ -7C Y549 コントローラ内蔵形サーボに対応しました。

- 1) シリーズ名"Sigma-7(コントローラ内蔵形)"、機種"Sigma-7CY549"を指定して、プロジェクトファイルを作成することが可能です。



- 2)  $\Sigma$ -7C Y549 コントローラにオンライン接続してエンジニアリングすることが可能です。

### 【対応バージョン】

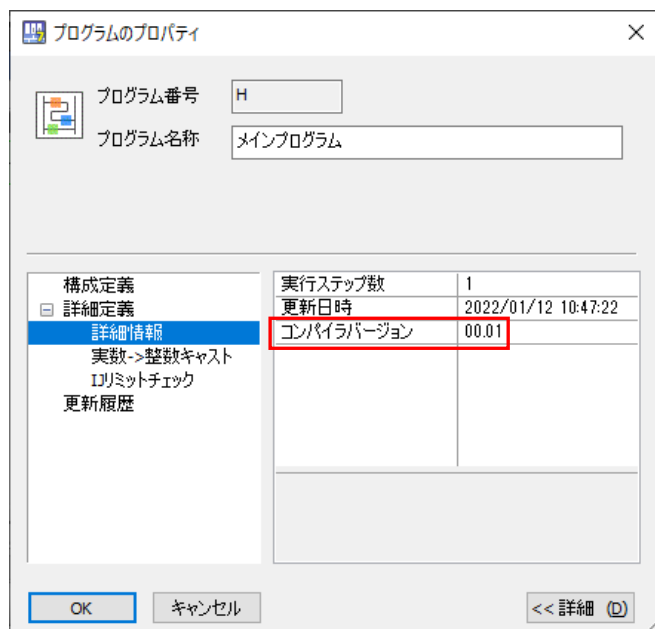
○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
$\Sigma$ -7 シリーズ	1.18

### No. 3 コンパイラバージョン表示に対応しました。

ラダープログラムおよびモーションプログラムのコンパイラバージョンを表示できるようにしました。バージョンは Ver.7.67 時点のものを 00.01 とします。それ以前のものはすべて 00.00 と表示されます。

・プログラムのプロパティ画面の詳細情報で該当プログラムをコンパイルした時のコンパイラバージョンが表示されます。



・MPE720 Ver.7 のコンパイラバージョンはバージョン情報で確認できます。



#### 【対応バージョン】

##### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

#### No. 4 YRM-X のセルフコンフィグレーションを改善しました。

YRM-X で指定モジュールのセルフコンフィグレーションが動作しない現象がありましたので、これを改善しました。

##### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X	コントローラのバージョンには依存しません。

#### No. 5 YRM-X のプロトコル切替を改善しました。

YRM-X でサーボオン時にプロトコル切替を行った時にエラーが表示されない現象がありましたので、これを改善しました。

##### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X	コントローラのバージョンには依存しません。

#### No. 6 システムウインドウの表データ機能を改善しました。

システムウインドウのデータ管理ツリーの下の表データから 8 文字の表データを作成した時にエラーになる現象がありましたので、これを改善しました。

##### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 7 リアルタイムトレースを改善しました。

リアルタイムトレースについて、以下の点を改善しました。

- 1) トレース定義をロードした時にトレース回数が誤って再計算されてグラフのスケールが変わってしまう現象がありましたので、これを改善しました。
- 2) リアルタイムトレースを MP2000 互換モードで実行した時、2 回目以降のトリガ待ち表示が 1 回目と異なるので、これを改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 8 ライブラリカタログのポイントテーブル編集を改善しました。

ライブラリカタログのポイントテーブルで 2 進や 16 進の表記が使用されていると、編集しても保存できない現象がありましたので、これを改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 9 電子カムツール連携機能を改善しました。

システムウインドウでデータ管理ツリーのカムツールデータから既存のカムツールデータを開いた場合に保存ができない現象がありましたので、これを改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 10 定数表(#レジスタ)の表示を改善しました。

定数表の#レジスタの桁数がずれて表示される現象がありましたので、これを改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
YRM-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。